

総合

史上5校目

駒大

写真=ゴールする駒大のアンカー糟谷悟。(左)胴上げされる駒大の高岡公監督(共同)

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

1月3日 土曜日  
2004年(平成16年)  
PM8:00

2位に5分57秒差圧勝!

**箱根駅伝復路**

◇3日◇神奈川県・箱根町芦ノ湖〜東京・大手町II5区間10.9、2キロ  
駒大が圧倒的な力を見せつけ、11時間7分51秒で3年連続4度目の総合優勝を飾った。3連覇は86年から89年までの順大の4連覇以来で、史上5校目となった。往路3区で奪った1位をその後1度も明け渡すことなく、2位に5分57秒差をつける圧勝だった。

2日の往路で2位に3分26秒の大差をつけた駒大は、復路も全区間で4位以内に入る安定した走りで独走態勢を堅持。10区の糟谷悟が区間賞を獲得し、復路も5時間33分17秒で制した。往路、復路を制する完全優勝は76回大会の駒大以来、4年ぶり。

全日本大学駅伝を制した東海大が総合2位。昨年総合17位の亜大が3位と健闘した。ともに各校史上最高順位になった。4位は大手町まで3チームの争いとなったが、法大がわずかに順大を抑えた。学連選抜も最後まで4位を争い、6番目にゴールに到着する健闘をみせた。6位東洋大、7位中大と続き、8位は最終区の序盤まで3位争いをしながら失速した神奈川大。9位日体大、10位日大までが来年度のシード権を得た。優勝候補に挙げられた大東大、山梨学院大はシード権を失った。伝統校の早大は2大会連続でシード権を獲得できなかった。

▽総合成績

- (1) 駒大 11時間7分51秒 (太田、内田、佐藤、田中、村上、吉田、斉藤、本宮、塩川、糟谷)
  - (2) 東海大 11時間13分48秒
  - (3) 亜大 11時間16分17秒
  - (4) 法大 11時間17分42秒
  - (5) 順大 11時間17分45秒
  - (6) 東洋大 11時間18分18秒
  - (7) 中大 11時間18分21秒
  - (8) 神奈川大 11時間18分33秒
  - (9) 日体大 11時間19分18秒
  - (10) 日大 11時間21分48秒
  - (11) 中央学院大 11時間23分58秒
  - (12) 山梨学院大 11時間25分56秒
  - (13) 大東大 11時間27分25秒
  - (14) 帝京大 11時間28分21秒
  - (15) 東農大 11時間28分22秒
  - (16) 早大 11時間28分47秒
  - (17) 国士大 11時間33分34秒
  - (18) 関東学院大 11時間36分15秒
  - (19) 城西大 11時間42分15秒
- ※日本学連選抜 11時間17分50秒  
(駒大は3年連続4度目の優勝。10位までが来年度のシード権獲得。日本学連選抜はオープン参加のため順位なし)